

# 肺腫瘍内科

## 《概要》

平成9年10月新病院開院以降、肺癌をはじめ広く呼吸器疾患全般を専門に診療に当たり、平成19年6月1日からは呼吸器科から肺腫瘍内科と診療科名を変更し、肺癌をはじめとする呼吸器(胸腔内)腫瘍疾患を専門に診療を続けてきました。

常勤医師は肺腫瘍内科 森山医師 一人ではありますが、他科の協力の下、気管支鏡検査、化学療法、放射線治療、手術などの腫瘍疾患への検査・診断および集学的治療を続けております。

平成22年4月からは非常勤医師として近畿大学医学部から準教授の倉田宝保医師が勤務し、毎週木曜日午前の外来と午後の病棟を担当しています。

外来日は火曜日、金曜日が森山担当、木曜日午前が倉田医師担当です。気管支鏡は月曜日と木曜日の午後行っており、事前の外来受診が必要です。

日本呼吸器関連施設、日本呼吸器内視鏡関連施設(気管支鏡)

## 《実績》(2011年4月～2012年3月)

気管支鏡症例数	76例
肺癌 化学療法 総投与数 (化学療法同時放射線治療の化学療法を含む)	151コース
他、症状緩和症例	15例
のべ入院患者数	74人

## 《業績》

### (1) 原著、総説、著書 (2011.4～2012.3)

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Phase II Study of Gefitinib as a First-line Therapy in Elderly patients with Pulmonary Adenocarcinoma: West Japan Thoracic Oncology Group Study 0402	Masashi Kobayashi, Kaoru Matui, Nobuyuki Katakami, Koji Takeda, Adusa Moriyama, Yasuo Iwamoto, Minoru Takada, Hiroshige Yoshioka, Naoko Sueoka-Aragane and Kazuhiko Nakagawa	Japanese Journal of Clinical Oncology	vol.41 No.8, 29 June 2011	948-952	2011

### (2) 学会研究会報告 (2011.4～2012.3)

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	非小細胞肺癌患者に対するエルロチニブ投与前の少量経口ステロイド+抗生剤内服併用による皮疹への影響について	森山あづさ 倉田宝保 桂 浩	第9回日本臨床腫瘍学会学術集会	2011.7.21
2	左下葉無気肺を伴い呼吸不全を呈した横隔膜弛緩症に対して胸腔鏡下横隔膜縫縮術を施行し有効であった1例	和泉宏幸 尹 亨彦 森山あづさ 桂 浩	第34回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	2011.6.17
3	未治療進展型小細胞肺癌に対する塩酸イリノテカンと塩酸アムルピシン併用化学療法の臨床第I/II相試験(WJTOG0302)	金田裕靖 森山あづさ 中川和彦 他	第52回肺癌学会総会	2011.11.3
4	A Phase I / II Study of Amrubicin and Irinotecan in patients with Advanced Small Cell Lung Cancer	T Kimura, A Moriyama, K nakagawa et al.	European Society for Medical Oncology(ESMO)2011	2011.9.23